

# 歌志内市財政健全化計画を

## 策定しました

平成20年度決算において、市の収入に占める借金返済額の割合を示す「実質公債費比率」が26・8%となり、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定する早期健全化基準の25・0%を上回ったことから、早期健全化団体に該当となりました。これに合わせ、同法に基づき財政健全化計画を策定しましたので、その内容についてお知らせします。

なお、この比率は平成21年度決算で早期健全化基準を下回る見込みです。

〈財政管財グループ 423212〉

### 実質公債費比率が

#### 基準を上回った要因

- ▶ 主な要因として、次のことが挙げられます。
- ▽炭鉱閉山に伴う地域振興対策事業の影響による起債償還が多いこと
- ▽下水道や神威岳の施設整備、市立病院の改築にかかる起債償還が多いこと
- ▽空知産炭地域総合発展基金からの不適切な長期借入金
- の償還額が、公債費として算入されたこと

### 個別外部監査の

#### 結果に関する報告内容

- ▶ 計画策定には、個別外部監査の実施が義務づけられています。
- 市では、現在の起債償還額が多く、今後の予定事業を実施するうえで起債が必要な「住宅事業」をテーマに公認会計士による監査を受けました。
- 報告内容
- ▼住宅事業の今後のあり方について
- 既存の事業計画は、いったん

者に対する回収策を強化すべきである。

これら、指摘事項については、一部を本計画に反映し、平成22年度に策定する「公営住宅等長寿命化計画」においても、その内容を反映させるものとします。

### 計画期間

本計画の計画期間は、平成21年度の1年間です。

### 比率を早期健全化基準未滿とするための方策

- この財政健全化計画は、新たな市民負担を求める項目はなく、次の項目の実施により比率を引き下げるものです。
- ▽除雪ドーザー購入に伴う地方債の発行を取り止め
- ▽使用料の徴収強化
- ▽公的資金の補償金免除繰上償還の実施及び借換債の発行抑制など

### 健全化判断比率の見直し

計画年度における、前年度からの健全化判断比率の見直しは、次表のとおりです。

区分	平成20年度	平成21年度
実質赤字比率 (15.0%)	赤字額なし	赤字額なし
連結実質赤字比率 (20.0%)	赤字額なし	赤字額なし
実質公債費比率 (25.0%)	26.8%	23.8%
将来負担比率 (350.0%)	238.3%	196.0%

※( )内は早期健全化基準

これまで実施してきた住宅事業の休止(19、21年度)や建設事業に対する地方債発行の抑制(19、20年度)などにより、実質公債費比率は25%以下となりますが、平成23年度までには、協議のみで地方債が発行できる「協議団体」となる18%以下を目指します。

財政健全化計画、個別外部監査の結果に関する報告書は、市ホームページに掲載しています。また、財政管財グループ、公民館にも備え付けています。

# 議会の動き

第1回臨時会

2月10日、会期1日間で開催

## 可決された議案

■歌志内市財政健全化計画の策定について

平成20年度決算で実質公債費比率が早期健全化基準を上回ったことに伴い、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき財政健全化計画を策定し、議会の議決を得ました。

なお、計画の内容については、前ページのとおりです。

■平成21年度歌志内市一般会計補正予算(第7号)

3,265万2千円を追加補正し、予算総額を45億9,813万7千円としました。

補正予算の主な内容は次の

●地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、財政健全化計画の議決を得ました。

●一般会計、国民健康保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計の補正予算が可決されました。

とおりです。

【歳出】

▽ロータリー除雪車購入の増

1,895万8千円

▽除雪車両等借上料の増

700万円

▽予備費の増 519万5千円

【歳入】

▽地域活力基盤創造交付金の増(除雪車両購入分)

1,263万円

▽前年度繰越金の増

2,000万円

■同歌志内市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

電算システム改修経費として21万円を追加補正し、予算総額を2億788万1千円としました。

■同歌志内市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

住民説明会開催経費及びこれに対する広域連合交付金として歳入歳出同額の15万2千円を追加補正し、予算総額を9,392万3千円としました。

## 行政報告

■中・北空知廃棄物処理広域連合の設立について

中・北空知地域可燃ごみ焼却処理施設の建設にかかる新組織「中・北空知廃棄物処理広域連合」が、平成22年2月2日付で北海道の許可を受け設立されました。これを受けて同日、同広域連合長選挙が行われ、中・北空知地域ごみ処理施設整備準備会の会長であった泉谷歌志内市長が広域連合長に選出されました。事務所は旧歌志内市観光館

に設置し、事務局長及び次長には滝川市の職員が派遣され、主幹職には深川市、副主幹職には砂川市、主査職には歌志内市の職員がそれぞれ派遣されました。

今後は2月24日に第1回目となる広域連合議会の開催が予定されており、正副議長の選任及び予算案等の審議が行われることになっています。

■火災の発生について

1月27日午後11時55分ごろ、神威桜沢の住宅で台所付近から出火、木造平屋建て1棟6戸延べ243平方メートルを全焼し、午前0時59分鎮火しました。

この火災で、この住宅に住むご夫婦が亡くなりました。原因及び損害額については

## 各種議会議員の選挙

新広域連合の設立に伴い、次のとおり議員が選出されました。

■中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員の選挙

当選人 梶敏

平成22年3月1日付  
歌志内市職員人事異動

▽市立病院看護部総看護師長(看護部看護師長) 宮川順子